

【専攻紹介】健康栄養専攻 栄養教諭への道

更新日: 2021.11.30 カテゴリー:トピックス | [お知らせの一覧へ](#)

今回は、栄養教諭を志望する、あるいは、免許を取得したい高校生に向けて、栄養教諭になるための単位の取得、その科目の特色、実習、さらには栄養教諭免許取得者の進路などについて紹介します。

栄養教諭制度とは

栄養教諭制度、平成17年度から始まった制度です。子どもが将来にわたって健康に生活していけるよう、栄養や食事のとり方などについて正しい知識に基づいて「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせることが出来るよう、食に関する指導（学校における食育）の推進に中核的な役割を担うのが栄養教諭です。現在県内の小・中学校、支援学校を中心に、76名（「**栄養教諭の配置状況**」令和2年5月1日現在：文部科学省）の栄養教諭が学校給食管理や食育の中心として活躍しています。

栄養教諭の仕事の特色

この制度のできる前は、学校栄養職員が学校給食を担っていましたが、栄養教諭は学校給食管理の仕事に加え、子どもたちに授業（食に関する指導）や個別的な相談指導を行います。栄養教諭は、養護教諭と同じく学校に1名配属され、待遇面も一般の教員と同等です。このように、子どもたちの食にかかわる仕事を通して、「食は大切、食育は楽しい」という気持ちを育てながら、子どもたちの成長の過程に寄り添うことのできるやりがいのある仕事といえます。

栄養教諭になるには

栄養教諭になるには、本学の健康栄養専攻のカリキュラムにおいて、栄養士の免許取得の科目に加えて、教員として必要な教職科目を履修します。この教職科目は、1年次に「教職概論」「教育原理」「教育課程総論」「教育心理」「教育制度論」「道徳・特別活動及び総合的な学習活動」など8科目9単位、2年次には「生徒指導」「教育相談」「栄養教育実習」「教職実践演習」など5科目6単位、計15単位の履修が必要です。本学では、平成26年度の入学生から「**栄養教諭2種免許**」養成課程を開設し、令和2年の卒業生まで、7年間で74名の卒業生が免許を取得しています。

秋田県の栄養教諭の採用試験は、一般の教員採用試験と同時に7月中旬(1次試験)と9月中旬(2次試験)に行われます。その年に採用されない場合は、栄養教諭の講師登録をして、県からの連絡を待ちます。翌年4月から講師として勤務しながらその年の採用試験を受けることができます。

栄養教諭以外の職を目指す人であっても、教職の授業で修得した相手理解(幼児、施設入居者、入院患者、顧客などのニーズ)を活用しながら、そのニーズに即した対応、支援に生かして、栄養士として幼稚園や病院、施設などに勤務する卒業生も多いといえます。

栄養教諭採用試験に合格しました

秋田県教育委員会では、栄養教諭の採用試験(一般選考)を平成27年度から実施し、毎年若干名を採用して現在に至っています。これまで本学卒業生は3名栄養教諭(2名は秋田県教育委員会、1名は、北海道教育委員会)に採用されています。なお、昨年度卒業し今年度合格したANさんは、この4月から県内の講師として勤務しながら、採用試験で合格を果たしました。

この11月4日(木)、今年度、秋田県の栄養教諭に合格したANさんが、健康栄養専攻の学生に対し、就職に関しての報告を兼ねて講話をしてくださいました。ANさんは、この4月から栄養教諭講師として勤務している学校での日々の勤務の様子や先輩教師からのアドバイス、調理員の方々との心の通った業務連携、給食を通した子どもたちとの触れ合いなどについて話をしてくれました。さらには、採用試験に向けての取り組みについて、栄養教諭を志望する学生のみならず、本学での日々の学びの大切さや、進路を選択する上で、貴重なお話をしてくれました。



栄養教諭の採用試験に合格したANさんと講話の様子

栄養教育実習報告会を行いました

今年度の栄養教教育実習は、2年生11名が秋田市内の小・中学校7校に分かれて、夏休み明けの8月末から9月はじめにかけて、1週間行いました。この実習の報告会を9月14日(火)、P201教室を会場に、実習生及び教職科目を履修する1年生、教員が参加して行いました。この報告会の目的は、実習を振り返り、栄養教諭や栄養士としての力量形成に役立てることと、また来年度実習を行う1年生の参考にもらうためです。

実習生全員が、5分間の時間の中で、実習校や実習の特色、実習の貴重な体験を紹介しながら、実習で行った授業の一端を再現してもらいました。どの実習生も明るく、元気に発表や模擬授業を行い、「充実した実習ができ楽しかった。」、「先生たちが優しく指導してくれた。」、「もっと実習したかった。」、「実際に栄養教諭としてやってみたい。」、「子どもたちがかわいかった。」など、体験の感想を述べてくれました。

また、参加した1年生からは、「とてもおもしろかったです。絵や紙芝居などを使って分かりやすく伝え、これは子どもたちも楽しいだろうなと思いました。」、「一つ上の先輩と思えないくらいすごかった。食に興味のなかったころの自分にも興味が湧いたと思う。」、「各自さまざまな工夫のある授業でとても参考になりました。学校側でも手厚いフォローをしてくれると分かり、少し安心できました。」、「状況が変わってもみんな臨機応変に対応し



教育実習「食に関する授業」の様子(秋田市小学校)

ですごいなと思った。」、「いろいろな授業展開があって、自分が教育実習を行ううえでも、とても参考になった。イラストを使ったり、今日のめあてを大きな文字で書いたりするなどの工夫があった。」、「写真や絵などを使い、またクイズ形式で進めることでおもしろく、参加しやすくなっていて、すごかったです。」、「どうしてあんなに上手に発表できるのか知りたい。」などの感想がありました。(記録用紙から)

コロナの感染予防に気を配られている中での実習は、受け入れる学校側も大きな負担があったように思います。それにもかかわらず、実習生を快く受け入れてくださり、また実習生や子どもたちにとって充実した教育実習になるよう、さまざまな工夫や対応をしていただきました実習校に対し、感謝申し上げます。



〇
報
告
会
の
風
景
〇

